

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【公開番号】特開 2006-164708 (P2006-164708A)

【公開日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報 2006-024

【出願番号】特願 2004-353427 (P2004-353427)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/26 Z

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 16 日 (2007.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の発光素子を有する発光装置であって、

前記発光素子は、

第 1 の電極と、

前記第 1 の電極上に、電流値を横軸にとり、電圧値を縦軸にとったグラフ表示において
ゼロを中心とした点対称な電流 - 電圧特性を有する第 1 の材料層と、

前記第 1 の材料層上に有機化合物を含む層と、

前記有機化合物を含む層上に、前記第 1 の材料層と同じ電流 - 電圧特性を有する第 2 の
材料層と、

前記第 2 の材料層上に第 2 の電極と、

を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記第 1 の材料層および前記第 2 の材料層は、金属酸化物と有機化
合物とを含む複合層であることを特徴とする発光装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、前記金属酸化物は、酸化モリブデン、酸化タングス
テン、または酸化レニウムから選ばれる一種または複数種であることを特徴とする発光装
置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一において、前記発光装置は、前記第 1 の電極と前記第 2 の
電極との間に交流信号を印加する駆動回路を備えたことを特徴とする発光装置。

【請求項 5】

複数の発光素子を有する発光装置であって、

前記発光素子は、

第 1 の電極と、

前記第 1 の電極上に、金属酸化物と有機化合物とを含む第 1 の複合層と、

前記第 1 の複合層上に、有機化合物を含む層と、

前記有機化合物を含む層上に、金属酸化物と有機化合物とを含む第 2 の複合層と、

前記第 2 の複合層上に、第 2 の電極と、

を有し、

前記第 1 及び第 2 の複合層が含む金属酸化物は、酸化モリブデン、酸化タングステン、または酸化レニウムから選ばれる一種または複数種であることを特徴とする発光装置。

【請求項 6】

複数の発光素子を有する発光装置であって、

前記発光素子は、

第 1 の電極と、

前記第 1 の電極上に、金属酸化物と有機化合物とを含む第 1 の複合層と、

前記第 1 の複合層上に、有機化合物を含む層と、

前記有機化合物を含む層上に、金属酸化物と有機化合物とを含む第 2 の複合層と、

前記第 2 の複合層上に、第 2 の電極と、

を有し、

前記第 1 及び第 2 の複合層が含む金属酸化物は、酸化モリブデン、酸化タングステン、または酸化レニウムから選ばれる一種または複数種であり、

前記第 1 の電極と前記第 2 の電極との間に交流信号を印加する駆動回路を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれかーにおいて、前記発光装置は、ビデオカメラ、デジタルカメラ、ナビゲーション、コンピュータ、または携帯情報端末であることを特徴とする電子機器。